

推進計画（原案）に対する意見一覧

No.	意見	市の考え等
1	<p>(P94: 施策③高等教育の充実) 秋田公立美術大学には、秋田の文化を海外にも発信して欲しい。また、たくさんの留学生を受け入れるなど、人材交流も活発に行って欲しい。</p>	<p>秋田公立美術大学の基本理念に「秋田の伝統・文化をいかし発展させる大学」、「秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学」を掲げていることから、それらを実現させる取組について、法人の設立者として長期的な展望で支援してまいります。</p>
2	<p>(P3: 新庁舎における総合窓口の整備・検証について) ①以前、市役所に用事があって行った時、たらい回しにされた。案内された課に行くのと、「ここではない。〇〇課へ」と3回くらい違う課へ行くと言われ、結局は一番最初の課にもどり、これに対し、なんでみんなでおしつけあうのか、どの課がやるのかははっきりできない意味がわからない。おしつけあう職員に腹がたった。なので、新庁舎の時には、あいまいな仕分けはせず、ふりまわすことのないように、市民にわかりやすい担当作りを希望します。あと、窓口につつまで、すごく丁寧な人と、つっけんどんな人がいるので、窓口でやる人は、接客が上手な人がやるべき。あとは、指導もきちんとやって、窓口対応の向上に努めて欲しい。あと、中には問題の市民もいる。いわゆるクレマー。これは本人の勝手な言い分が多いので、こういう市民にはガツンと言うくらいの確固たる姿勢が必要だと思う。程度によっては、警察を呼ぶように連携しておく。</p> <p>(P3: コンビニでの24時間納付の実施) ②これはすごく助かる。仕事しながらの銀行での支払いは、とても不便だから。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
3	<p>資料を拝見して感じたことは1つ1つのプランが独立していてバラバラであり、この全部を実現するのは困難だろうということでした。</p> <p>中心部を商業で活性化するのはもう無理。アクセスの良さを生かし、高齢者福祉の拠点とすべき。このプランでは秋田は結局このまま衰退するだろうなと思いました。その場合、他県と合併していくんだろうな、と想像しています。その方が良いとも思っています。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>(P98: 戦略2 Ⅲ観光振興とセールス・プロモーションの強化) ①屋外でも屋内でももっと各年代が楽しめる施設がもっとあったらと思う。例えば夏の夜に行っていた動物園の遊園地の低料金の解放の時は親子連れ、おじいちゃんおばあちゃんが孫と一緒に楽しんでいた。その時、県外からそれを目当てに来ていた家族がいたので驚いたが、もっとこういうことを大々的にやれば観光で人を呼び込めるのにと考えた。</p> <p>(P102: 戦略4 子どもを生み育てやすい社会づくり) ②娘達が出産後働きたくても就労していないと保育園に預けられず苦労していたが、たとえ短時間の就労でも保育園等に預けられたらもっと子育てがしやすくなるし、虐待等も減っていくのではないだろうか。又、児童センターももう少し低料金で利用できたらありがたいと思う。二人目、三人目を産んでもいいと思える環境を作ってほしい。</p>	<p>①いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>②平成27年度から実施している子ども・子育て支援新制度により、教育・保育施設は求職活動中であっても利用できるほか、月64時間以上の短時間就労も利用できることとなっております。</p> <p>また、児童センターは、放課後に子どもたちが自由に来館し、無料で利用することができます。一方、放課後児童クラブは、サービス内容によって料金が異なっているものです。</p>

No.	意見	市の考え等
5	<p>(P50: 施策⑤交通機能の充実について)</p> <p>①バス交通総合改善事業の取組の中で、バス運行は非常に時間が不規則であり、特に雪の時期は寒いバス停で長く待たねばならないことも多く、東京のようにバス停にだいたいのバスの運行の状況や到着時間などが示されるものを作るか、あるいは雪や日よけのための屋根のある待ち合わせ場所を作してほしい。</p> <p>(P57: 施策②食育の推進)</p> <p>②取組の中にマタニティ、離乳食、幼児食などに加え、年配の人（老人）の食生活についてのアドバイス講座もあれば助かる。</p> <p>(P59: 施策③保健・医療体制の充実)</p> <p>③ガン検診等事業の取組について、ガン検診の受診しやすい体制作りとあるが、ガン検診率が低いのは、検診を受けてから結果を受け取るまで長いのも一つの要因であると思う。もうすこしスムーズにいかないものかと思う。検査のスピードアップをはかってほしい。</p> <p>(P60: 予防接種事業について)</p> <p>④インフルエンザの65才以上の接種料金の割引より、子ども（高校生まで）の接種の割引を実施してほしい。</p> <p>(P64: 健康診査助成事業について)</p> <p>⑤国民健康保険の被保険者に対して助成しているが、毎年のもので2年ごとのものがあり、できれば統一していただき、全部毎年助成して頂けると助かる。</p>	<p>①ICTを活用したバス運行状況等の提供やバス停における施設の充実などに関して、現在策定中である「第2次秋田市公共交通政策ビジョン」への位置づけについて検討しているところだ。</p> <p>実施にあたっては、費用負担などの課題もあることから、引き続き、バス事業者などの関係者とともに検討してまいります。</p> <p>②高齢者を対象とした食生活講座についても実施しており、今後も健全な食生活の実践へ向けた取組を進めてまいります。</p> <p>③本市のがん検診については、撮影フィルムを2名の医師が別々に読影するなど検診の精度を維持するための行程があります。そのため、検診結果の送付までに一定期間要することをご理解願います。</p> <p>④インフルエンザワクチンについては、一般的に重症化の予防効果が認められております。特に接種の意義が大きいと考えられ、定期予防接種の対象となっている65歳以上の高齢者の接種料金に対して助成しております。</p> <p>⑤国民健康保険の被保険者に対する助成は、本市のがん検診を受診した時の自己負担分について行っております。</p> <p>本市でのがん検診の間隔は、国が定める指針に従い、年1回もしくは2年に1回としておりますのでご理解ください。</p>
6	<p>(P77: 認定こども園預かり保育料助成事業について)</p> <p>先日、国による低所得者への第三子以降保育料全額助成が発表されました。しかし、これはまたしても既に生まれている未就学児を育てている中所得者層を補助するものではありませんでした。</p> <p>低所得者層への補助は国がしてくれるのですから、その分、秋田市の予算は余りますよね。既に生まれている第三子全てとはいいません。せめて第一子の年齢制限を小学校六年生までとしていただけませんか。</p> <p>全国でも来年度から第三子を無料とする市町村が増えてきました。これから生まれてくる子どもというのに固執するのはどうかと思います。何卒、現在にも目を向けてくださるようお願いいたします。</p>	<p>本事業は、一定の所得制限のもと、第1子の年齢上限を小学校6年まで引き上げたうえで、無償化することを予定しており、単に、子育て世帯の経済的負担の軽減のみならず、第2子を持つことへの後押しを図ろうとするものです。</p>
7	<p>(P36: 施策①環境保全の推進)</p> <p>①30年ほど以前には、裏の農業用水路でホタルが沢山見られた。その水路にコンクリートのU字溝が埋められてからは、水質の変化（アルカリ化）や水生生物（餌）の死滅によって、ホタルは完全に姿を消して久しい。</p> <p>また大雨による増水などで、上流から土砂や生活ゴミが流されて多量に堆積し、水底が高くなりヘドロが臭いを放っている。水が汚濁し、昨年までは十数匹見られた大きな鯉の姿が、今年はずいぶん見ることができなくなってしまった。U字溝の設置されない自然の用水路だと時間とともに水質浄化が為されていたが、増水による冠水からの解放と引き換えに、このような弊害が生じている。</p> <p>定期的に、ヘドロや生活ゴミの撤去を実施できないものだろうか。</p> <p>(P54: 施策②雪に強いまちの確立)</p> <p>②除排雪事業は近年かなり効率よく効果的に行われるようになってきたことに感謝したい。今後さらに「排雪」業務に、雪捨て場所の確保や消雪の方法について予算を盛っていただきたい。</p> <p>(P16: 施策①企業立地・事業拡大の推進)</p> <p>③雇用の拡大のために、秋田市独自の特化された企業誘致の推進はできないものだろうか。例えばエネルギー産業を支えるために、その必要な部材を作るための中核となる看板企業を秋田市が率先して誘致し、それと関連するものづくりをするための工業団地化を図るなど、自治体主導の企てが何か必要ではないだろうか。例えば、風力発電関連部品とか、メタンハイドレード資源開発に関すること等。</p> <p>秋田港を流通拠点としての海上輸送と日本海沿岸自動車道との交通網の一体化やさらには秋田空港との結びつきを密にした輸送路の開発により、地理的なハンディを克服し、逆に海外展開も見据えた野心的な自治体主導の企てを切望する。</p>	<p>①水路の管理者に対して、適切な維持管理や、環境保全に努めていただくよう伝えてまいります。</p> <p>②いただいたご意見については、個別の取組・事業の実施にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>③いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
8	<p>(P19:商店街振興事業について)</p> <p>①地域の特色をいかしてとあるけれど、特色とはどんなものか。よほど特徴がない限り大体どこも同じようなことになると思うのですが。あと魅力があっても行きづらかったら行かない。</p> <p>(P48:施策④道路整備の推進)</p> <p>②人にやさしい歩道づくりはもちろんのこと、自転車にやさしい車道づくりも行ってほしいです。道路改良に含まれているのでしょうか。</p> <p>(P65:絆づくり事業)</p> <p>③絆というとキレイに聞こえるけど、あまり強すぎても新規の人が来にくくなる雰囲気になりかねないので、そこを押し出しすぎてどうなのかなど。あとその推進にのれなかった人が一層孤独感を強くしてしまったらそのフォローはあるのでしょうか。</p> <p>(P71:傾聴ボランティア養成事業)</p> <p>④中高年と限定しているのは何故ですか。</p>	<p>①立地条件や周辺環境および地域固有の伝統文化・観光資源など、個々の商店街が活用できる地域活性化に資する資源等であります。</p> <p>②人にやさしい歩道づくり事業や道路改良事業などにより利用者に配慮した道路整備を進めるほか、道路交通法の啓発活動など、ハード・ソフトの両面から自転車利用環境の向上に努めることとしております。</p> <p>③絆づくり事業は、より多くの市民が気軽に参加し、絆づくりの大切さを実感していただくことができるように留意しながら企画しております。今後とも、いただいたご意見を参考にしながら、絆づくりに取り組んでまいります。</p> <p>④本講座は、受講生が受講後にボランティア活動を実践することを想定しています。実際の活動では、深刻な相談にも対応しなければならぬ場合もあることから、ある程度人生経験を積んでいる中高年を対象とするものです。</p>
9	<p>(P16:将来都市像1 豊かで活力に満ちたまち 政策1 商工業の振興 施策①～③)</p> <p>P5: [取組・事業③] 組織機構および人員配置の最適化)</p> <p>①県都秋田市の将来大発展のために掲げた標記将来都市像は、正に正解であり、これが見事達成されることにより、秋田市の既存企業、誘致企業の拡大推進が大いにはかられ、次の大きな波及効果が期待されます。</p> <p>②既存企業の事業拡大・新規企業の開業により秋田市全体の商工業が大きく発展、活気付く。</p> <p>③全国から多くの質の高い若年者が集まり、自ら若い世代の結婚により子供も増え、人口減少に歯止めがかかる。そして、この重要事項をご担当される市の職員の方々は、県および県外企業等との重要交渉に当たられますので、定員管理の中で優秀な方を是非お願いし、大きな成果が得られますよう期待いたします。</p> <p>(P1:推進計画の意義)</p> <p>②平成28年度から32年度まで5年間使用する秋田市民の合言葉を設定し、広報・職場・家庭等に展示し、市と市民が一体となって運動を展開すれば大いに盛り上がると思えます。例:「あきた創生」「ストップ人口減少」</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
10	<p>(P33:施策②にぎわいの創出)</p> <p>秋田駅前(西口)は事業、取組がみられるが、駅裏(東口)～横金線は交通量が多い割に商業店舗が多く、文化施設や憩いの場(公園など)が少ない。そういうねらいなのかもしれませんが、秋田駅周辺に限ってみれば、事業や活動の割にあまり効果が無いように思われます。また、駐車場も少ないので、駅前には行きにくい。公共機関を利用させるためだとすれば、電車であれば、駅を増やすか最寄り駅に駐車場を設置してほしいです。バスであれば、大通りや国道、公的施設や病院などは充実していると思いますが、住宅地周辺や市内近郊はあまり充実しているとは言えないと思われます。小型バス等でせまい道路でも走れる区間があっても良いと思えます。いずれ、雪国でもありますし、公共機関といっても限界があり、車との関わりは必ずあります。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
11	<p>(P35:施策③移住の促進)</p> <p>①他市、他県の人に移住を検討するときに「秋田に移住したい」と思えるような何かが必要では。例えば、ホームページやポスター、SNSなどで移住体験ができると呼びかけるなど。実際に秋田に来てみることで良さ、もっと知りたいという気持ちなど感じ、移住の検討の段階で秋田が選択肢の1つになるのではないかと考える。</p> <p>(P54:施策②雪に強いまちの確立)</p> <p>②近年は、細い小路にも除雪車がすぐに来てくれるようになりとてもありがたいです。これからも迅速な対応をよろしくお願いします。</p>	<p>①今年度は、移住体験ツアーの開催や移住ガイドブックの作成、移住PR動画の制作・配信等を実施しており、市ホームページでも移住・定住情報の発信を行っております。いただいたご意見も参考にしながら、今後の移住関連施策に取り組んでまいります。</p> <p>②いただいたご意見については、個別の取組・事業の実施にあたり、参考とさせていただきます。</p>
12	<p>(P91:施策②学校教育の充実に関して)</p> <p>秋田市内もしくは秋田県内に存在する、様々な文化芸術施設を、小中学生にもっと強力で教えることが必要と考える。パンフレットを作っただけでは不足である。また、あのパンフレットに盛り込まれた各地区の「狭く、深く」というコンセプトではなく、秋田市民・秋田県民として「これだけは知っておいてほしい」「外から来た人達に誰もが紹介してあげてほしい」というコンセプトから、すべての小・中学生に教えるべきことがたくさんあるのではないかと。数十年前には遠足といった学校行事がこの役割を果たしていたかもしれないが、今はどうだろう。ファミリードライブに任せてはおけない。地域教育として学校がなすべきことが多々あると思う。そのための費用は「学校きらめきプラン」などを割り当てるのが妥当と考える。その理由は、現場ではこうした各学校裁量に任された活動はなかなか充実度の低いものに終わってしまうことが多いからである。それだけでなく、実際に自分の住んでいる市・県について余りにも知らな過ぎる生徒達の多いことにも驚かすことが多いのである。秋田市内だけでも高清水の東門、県立博物館と水心苑及び公園、様々な移築展示している屋敷、千秋公園、中央公園、天徳寺、一つ森公園、大森山動物園等々、これらは小学生1・2年生対象となろう。このように、きちんとした知識と共に実際に県内の様々な教育・文化・歴史施設を体感させ郷土の一員として教育することが、今この時代だからこそ求められるのではないかと。コミュニケーション能力とは、伝えるべき内容の存在こそがまず求められるのだから。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
13	<p>(P16:政策1 商工業の振興)</p> <p>商工業の振興に企業誘致と既存企業の規模の拡大の推進を挙げていますが希望どおりの成果をあげることができるのでしょうか。市場には商品が有り余っています。このような状況では他県より、また海外よりも低価格で品質の良い優れた商品で販売技術も卓越したものでなければ相手に打ち勝つことはできません。しかし競争相手も同様の考えを持つことは当然のことです。それは地元企業にとっても同じことで、融資や補助制度で事業拡大をはかれるのは数えられるほどの企業だけだと思えます。</p> <p>雇用の拡大については誘致企業が増えることと、既存企業が経済戦争に勝利して規模拡大できれば雇用も増えるでしょうが、質の高さを求めることは不可能ではないでしょうか。それは企業が企業を維持するためにコスト削減に追われるからです。コスト削減は取りも直さず賃金の削減や過酷な労働を強いられるからです。しかし、すぐれた能力を持つ人々は企業から優遇されるでしょうが、社会全体からみればごく一部の人がだけだと思えます。企業は好むと好まざるに拘わらずに賃金格差をますます拡大させることでコスト削減を図ると予測されます。</p> <p>このような状況では豊かな社会にするのと計画からかけ離れた社会になるのではないかと危惧されます。豊かなまちにするためには一般の企業も確実に売れるようにする計画も必要だと思えます。市内企業の生産品や農産物を優先的に買うようにすることです。現在の地産地消の奨励では不十分だと思えます。どこのスーパーマーケットに行っても市内生産品や県内生産品の売り場面積はあまりにも狭すぎます。それは購入者が少ないからではないでしょうか。市民や県民の消費者にソポを向かれています。到底豊かなまちづくりは遠いものと思えます。市民や県民への説得をもっと真剣に取り組むべきです。市民が市内生産品を買うことによって、市内企業は一定の売り上げを維持できれば事業拡大の可能性が大きくなります。また支援制度が活かされる確率も高くなると推測します。</p> <p>市や県の経済状態は良いか悪いかで市民の生活に大きな影響を与えます。市民に一致協力して自らの生活を守るために市県内生産品を買うように大いに奨励すべきだと思います。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
14	<p>(P27:施策②戦略的で多様な農林水産ビジネスの創出について)</p> <p>数年前より、農林水産省を始め秋田県・各市町村で「6次産業」と言う言葉がやたらと使われるようになったと思います。</p> <p>県内の農業は、どの分野も後継者が不足しておりますが、比較的若い人が多く取り組んでいるのは「花き」生産です。最近では秋田県のオリジナル品種のトルコキキョウ「ホワイドレス」や「ナマハゲダリア」などを栽培しております。</p> <p>「秋田県花き生産者連絡協議会」という組織があり、年2回関東・関西を代表する「市場」の社長を招いて農家と懇談の場を設け、日頃から連絡を密に関東・関西での需要にあわせた生産を行い、比較的高い収入につながるから、若い農家にとって魅力的に感じているのだと思います。</p> <p>「6次産業」を安定させるために、この事業にも資源や商品開発と同時に販売戦略が絶対必要です。秋田の農家は非常にいいものを生産しますが、売れなければ失敗してしまいます。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
15	<p>(P4: [取組・事業③] 市政情報の提供)</p> <p>① SNSの利用については是非活用すべきであり、次代を担う若者からの意見を聞くためにはよいツールとなると思う。双方向的な場にし、若者がコメントを入れやすいような工夫や自由に意見交換できるようなスタイルをとるべきであり、施策に誘導したり、施策に対抗するコメントの無視、削除はすべきではない。私はSNSでコンパクトシティのあり方、大型店舗の誘致の是非については是非、SNSを使って市民の声を聞いてほしい。</p> <p>(P18: 施策②企業の活性化の推進、P20: 施策③雇用の拡大と質の向上)</p> <p>② 中小企業の支援は重要であるが、やる気のある企業の支援、特にアンダー35正職員化に積極的な企業への支援を重視するとか施策の横断化を進めてほしい。</p> <p>③ 農業法人についても非農家出身の雇用の支援等も行ってはどうか。</p> <p>(P55: 施策③防犯・交通安全体制の確立)</p> <p>④ 交通安全対策経費について、安全教室だけでなく、衣服に装着できる反射シールの配布（広島ではカーブのロゴのシールを配布していますので、ピンクのハビネッツの反射シールとか）実質的な動きが必要では。またすでに行われているかもしれないが、高齢者の自動車免許返還に伴う優遇措置等を進め、脱自動車の仕組みを作るべきである。</p>	<p>①②いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>③ 農業法人等への雇用就農の推進事業として、県事業の「農の雇用事業」があります。この事業は、農業法人等で働きながら生産技術等を習得するための研修を支援（最長で2年間）するものであり、非農家出身者も対象となります。市としましても、支援期間終了後も継続したサポートが必要であると認識しておりますので、いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>④ 反射シールについては、交通安全キャンペーンやイベント等で配布を行っているところですが、事業実施にあたりデザイン等のいただいた意見を参考とさせていただきます。</p> <p>また、運転免許返還者の優遇措置については、県警が主体となって進めており、県と連携し取り組んでまいります。</p>
16	<p>(P54: 施策②雪に強いまちの確立)</p> <p>① 「雪に強いまちの確立」のためには、取組・事業にもある「初期除雪の徹底」が大変重要であると思えますので、是非、力を入れて取り組んでほしいです。</p> <p>(P74: 施策①子ども・子育て環境の充実)</p> <p>② 幼稚園・保育所へ通う子どもがいる世帯への経済的支援を、引き続き充実させてほしいです。</p>	<p>いただいたご意見については、個別の取組・事業の実施にあたり、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
17	<p>(P1:第1 推進計画の意義)</p> <p>①人口減少に歯止めがかからず、急激な人口減少局面に入りつつあるという認識を持ちながら、あえて「成長プラン」としたのであれば、ここでいう成長とはこういうことだという説明が不足しているように感じます。</p> <p>(P8:視点3 市民協働)</p> <p>②この考え方には大賛成です。何でも行政に任せておけば良いという考え方がまだ大勢を占めているかと思いますが、これからは市民一人ひとりがそれぞれの地域や活動に関心をもって行動するように、意識改革をしていくことが重要になると思います。そのためにも、まずは身近な一斉除雪などの活動を幅広く展開していくことにより、市民協働の土台作りをおこなうことが必要であると考えます。</p> <p>(P8:視点4 家族・地域の絆づくり)</p> <p>③この考え方にも賛成です。人と人のつながり無くして豊かな社会づくりはできないと思います。東京などの大都市とは違う、秋田らしい県都秋田市を目指していくべきだと考えます。</p>	<p>①ご指摘の点については、推進計画の上位にあたる基本構想の「基本理念」および「成長戦略」の中で、「成長」を物事の規模が大きくなることだけではなく、成熟や質的な向上を含むものと定義し、人口減少下においても元氣な秋田市づくりを進め、暮らしの豊かさを次の世代に引き継いでいく旨、記載しております。</p> <p>②③いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
18	<p>(P30:施策①観光振興の推進、②にぎわいの創出)</p> <p>①竿燈祭り等、ブログなどの紹介などネットを利用したアピールがもっとあっても良いのではないかと思います。県立美術館から見える、お堀と千秋公園の紅葉はとても素晴らしいと思います。なかいちの素晴らしい建物を利用しきれいな感じがします。</p> <p>②道の駅秋田港に一度行きました。果たして観光客や市民に浸透しているのかと感じました。例えば秋田駅～道の駅までの安い料金のバスの運行などでもっと行きやすくなると良いのですが。</p> <p>③中心市街地循環バス運行は、他県に比べて見劣りしているとの声が聞かれます。もっと運行範囲を広げるとか、若い人にも浸透して欲しいです。</p> <p>④市民市場の日曜祝日休みは、勿体ないと感じます。お盆等観光客の多い時には開いていると良いのですが。</p> <p>(P38:施策②循環型社会の推進)</p> <p>⑤1月8日からの使用済小型家電のボックス回収はとても助かります。出来れば、行政でもスーパーににあるような古紙段ボール等の回収ボックスもあれば助かりますが。</p> <p>(P43:施策①秩序ある都市環境の形成)</p> <p>⑥市営墓地も樹木葬があればと思います。</p> <p>(P52:施策①危機管理体制の確立)</p> <p>⑦空家はまだまだ見受けられます。特にお年寄りが一人暮らしから施設等や亡くなったりして、子供が処分に困ってるケースもあるようです。それを活用して若い世代に利用はできないものではないでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
19	<p>(総合的な受け止め)</p> <p>総合計画から取組、推進計画と骨子を細かく示されており、基本路線にスムーズに事運ばれますよう希望いたします。</p> <p>町内会といたしましても都度話し合い、今後の糧としていかなければならないと強く感じ受けました。</p> <p>行政の親身の案として、市民に分かり易い指導を強く望み達成に向け、市民、行政が一体となり、解決していかなければなりません。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>